

シエラシイ

シエラシイ とうらやましりし けり

うらやまし い けり

スアリ としていい

きつあし いのたごんくあし

あれもこれもあまのふんて すがらしい

ふんて 棄敵 万んたろ

はかそえまふんい

自分か出系 ずんニとてあらく していさのけ

尊敬すらししてさう

水場金にいたる

講師とてなるが他半だつた

愚痴の前は立って けなしをしてもらう

せはは 二こどあう いやだ と作さくわ

あせてまじくすう

男はとうちがいは どんく けなしをして

まふかひは 二こ修正すう

これで はじめて 男女のちあいの ばかりあつた

田中世共 嫉妬心けり

とらえが 厄あかり

世は自分の方がすぐれている

自分の人が自分の本で乙 ³ 物とせよ

思慮だつて自分の方がよさつていふ

くやしいかう相手以上は原うかのこつていふ

全部が全部 そつてけなうが

どうも友達のしかたで犬いかに

世は何分かにておぼつておぼつていふ

次の日付はれいふのよとんが 入れあつて

いふ

頭の風の年の羽のうらた いつを賣る世に

こころをよるへはに一の甲で 自分が一番と

思つていふ だかう一番たうたされは

と思つていふ

私にのかれら

2022
1/6